

第3回グループワークまとめ

資料4-2

<p>1 グ ル ー プ</p>	<p>【計画の体系案】 〈大項目4について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の計画なので「障がいのある人の」という言葉は抜かしてもいいのではないかな。 ・大項目の名前を「ライフステージを通じた生活支援の充実」にしてはどうか。 ・⑦の「育てにくさへの支援」については（2）の家族への支援の項目に入るのではないかな。（1）では「生きづらさへの支援」をいれていただくと、色んな障がいについて、そしてまた障がいに入る以前の予防という視点を入れた言葉になってくれるのではないかな。 ・小項目の量が多いので、検討してほしい。
<p>2 グ ル ー プ</p>	<p>【計画の体系案】 〈大項目3（1）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①の「わかりやすい情報提供の充実」について、しおりだけではなく、あらゆるメディアを通じて具体的なサービスの周知を期待したい。 <p>〈大項目5（1）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話を使う人、使わない人を含める事業がほしい。 ・①の「社会参加の条件整備」について、条件というと敷居が高いイメージ。制度の整備などイメージしやすく敷居が高くないような文言にしてほしい。 ・重度の方は土日とか外出することが難しい。余暇の拡充をより推進することは社会参加として意義があると感じている、余暇という文言をいれてほしい。
<p>3 グ ル ー プ</p>	<p>【計画の体系案】 〈大項目3について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい情報提供と書いているが、障がい別によってわかりやすさ等は変わっていくのではないかな。 ・ホームページの作成について、市と連携しながら内容を濃くしていきたい。 ・障がいのある人の視点だけでなく、障がいのない人にとってもわかりやすいものがあれば、共生社会につながるのではないかな。 <p>〈大項目4について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「途切れのない」という文言を大項目にいれてもいいのではないかな。 ・途切れのない支援を前提にし、中項目を児童・障がい児・家族と分類するのはどうか。

<p>4 グ ル ー プ</p>	<p>【ビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整ったビジョンにはなったが、意思決定支援をこの項目で尊重しく、こういった事業で重視しますといった明記が見当たらないなど、ビジョンと計画の体系案のつながりのようなものができていないと思う。 ・ 来年度、精神保健福祉法が改正されると思うが、その部分は計画にどのようにもりこまれるのか。 <p>【計画の体系案】</p> <p>〈大小目3（2）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談機能の充実というところで、支援体制や相談窓口当等の充実とあるが、相談員の数やマンパワーが増えないとこの項目の充実は図れないのではないかと。 <p>〈大項目6について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材確保は盛り込まれているが、事業名に「ピアサポーターの養成」が入っている。当事者の方の事業（マンパワー）が少ないので、小項目の①で当事者の方が支え合うとか、当事者の方の力を発揮するといった事業が生れるのを期待したい。
<p>5 グ ル ー プ</p>	<p>【計画の体型案】</p> <p>（大項目5の（2））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①の「障がい者の一般就労の推進」という文言について、「一般就労」は限定過ぎるのではないかと。「多様な働き方」に文言を変更できないか。 ・ ②の「雇用側への積極的な働きかけ」という文言について、積極的な働きかけではなく、相互に関係をつくってネットワークを構築していくというようなニュアンスの文章に変更できないか。 ・ ③の福祉的就労の充実について、就労支援部会で取り組んでいる共同受注の事務局機能について市が積極的に関わっていくというようなニュアンスの文章を入れていただきたい。 ・ ④については今のままで大丈夫ではないかと思う。
<p>オ ン ラ イ ン グ ル ー プ</p>	<p>【ビジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「持てる能力を発揮し」という文に評価する声もあったが、重度の障がいの方については、自発的に発揮することが難しい場合もある。やはり最大限引き出すというサポート支援が必要なのではないかと。 ・ 「持てる能力」について、何をどのようにすればよいのかわからない。 <p>【計画の体系案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当事者へのヒアリングにも関わってほしい。